

研究 成 果 報 告 書

2024 年 8 月 30 日

1. 所属・職・氏名 等

文学部英文学科・講師・黒川智史

2. 研究課題（テーマ）名

島嶼部地域における英語教育政策の現状の現地調査

3. 研究期間

2023 年 4 月-2024 年 3 月

4. 利用した研究費の種類及び金額

「若手教員研究促進交付金（合算分を含む）」264,633 円

5. 研究の概要

山間部や離島などの英語教育政策については、都市部と比べて、後回しにされることが多いことが示された。山間部や島嶼部の英語教育については、オンラインでのコミュニケーションを行う方法などが検討されているものの、人材やタブレットなどはどの程度配備されており、どの程度実現可能なものか、そして実際には行政としてどのような取り組みを本来したいのかは、あまり調査されていないのが現状である。また、その地域で実施されているテスト内容については不明なものも多く、研究が進んでいないのが現状である。そこで本研究では、基礎研究として、島嶼部の英語教育政策および実際のテスト内容について検討した。

6. 研究成果等

本年度は諸般の事情があり、思い通りに研究を進めることができなかった。とりわけ現地調査ができなかったことが悔やまれる。その一方で、研究の基礎となる部分については進歩があった。例えば、研究テーマと関連している英語民間試験導入の断念の経緯については論文を出版することができたことにより、さまざまな研究者と交流を持つことができ、当初部地域の英語教育についての知見も広めることができた。

また、今後の政策分析の基礎となる、英語テストの統語分析についても国際学会で発表することができた。英語テストの統語分析は、一見当、島嶼部地域の英語教育政策と関係ないように見えるが、実際は大いに関連している。なぜなら、英語教育政策は、実際に行われている英語教育のテスト自体を解析することも重視されており、島嶼部地域の教育内容以上にテスト内容の調査が不足している現状があるためである。

7. 研究の実績（論文・発表 等）

黒川智史. (2023). 大学入試改革における英語民間試験活用見送りの経緯—「身の丈発言」 前後の動向を中心に—. *都留文科大学研究紀要*, (98), 1-13.

Satoshi Kurokawa & Salingre Maelys. (10, December 2023). A syntactic analysis of English subject tests for Japanese Medical and non-medical university entrance examinations using NLP. *7th Global Educators Network International Conference. Thuy Son Room, Novotel Danang, Vietnam*